

ねえ もう少し<sup>すこ</sup>だけ  
もう少し<sup>すこ</sup>だけ 聞いて<sup>き</sup>いてほしい  
ねえ もう少し<sup>すこ</sup>だけ  
もう少し<sup>すこ</sup>だけ わがままいいですか？

て 手にいれた<sup>とたん</sup> 途端<sup>き</sup>に 消えてしまいそう  
ことば  
言葉をくれませんか？

『あい 愛している あい 愛している せかい お 世界が終わるまで』  
ば か 馬鹿<sup>わら</sup>げてる<sup>くち</sup> と 笑い<sup>だ</sup>ながら 口に出<sup>で</sup>して<sup>き</sup>みて  
あい  
愛している  
そんなことが簡単<sup>かんたん</sup>には出来<sup>で</sup>なくて  
う ま 上手<sup>あい</sup>く 愛<sup>あい</sup>せるようにと  
あ<sup>そら</sup>の空<sup>いの</sup>に祈<sup>いの</sup>っている

ねえ し 知り<sup>し</sup>たくても  
し 知り<sup>し</sup>尽く<sup>つ</sup>せないことばかりで  
だから ひと 1つ<sup>ひと</sup>にならない 2つ<sup>ふた</sup>の体<sup>からだ</sup>を  
せい いっぱい だ  
精一杯 抱<sup>だ</sup>きしめた

あなたがいるそれだけで もう せかい か 世界<sup>せかい</sup>が 変<sup>か</sup>わってしま<sup>か</sup>う  
モノトーンの景色<sup>けしき</sup>が ほら あざ うつ 鮮<sup>あざ</sup>やかに 映<sup>うつ</sup>る  
いつのま<sup>ま</sup>にか 離<sup>はな</sup>れていた 手<sup>て</sup>をつないで 歩<sup>ある</sup>いてく  
う ま 上手<sup>あい</sup>く 愛<sup>あい</sup>せているかなあ  
あ<sup>そら</sup>の空<sup>き</sup>に 聞<sup>き</sup>いてみるの

いつか離<sup>はな</sup>ればなれになる日<sup>ひ</sup>がきても  
あなたを想<sup>おも</sup>った日々<sup>ひ び</sup>があればそれでいい  
いつか離<sup>はな</sup>れた意味<sup>い み</sup>を知る日<sup>し ひ</sup>が来るよ  
やくそく 約束<sup>あした</sup>するから 明日<sup>あした</sup>へ

『愛<sup>あい</sup>している 愛<sup>あい</sup>している 世界<sup>せ かい</sup>が終<sup>お</sup>わるまで』  
ば か 馬鹿<sup>わら</sup>げてると笑<sup>あ</sup>いながら 口<sup>くち</sup>に出<sup>だ</sup>してみて  
あい 愛<sup>あい</sup>している  
そんなことが簡<sup>かん</sup>単<sup>たん</sup>には出<sup>で</sup>来<sup>き</sup>なくて  
う ま 上<sup>あ</sup>手<sup>い</sup>く 愛<sup>あい</sup>せるようにと  
あ<sup>そら</sup>の空<sup>いの</sup>に祈<sup>いの</sup>っている  
あ<sup>そら</sup>の空<sup>いの</sup>に祈<sup>いの</sup>っている